

千葉菌類談話会通信 33号 目次

■ごあいさつ	金城 典子	4
■砂地のきのこたち	山本 充弘	5
■ウラムラサキシメジをはじめて食べた話	菊乃	10
■ニッチ式	前川 啓二	12
■病体のきのこ採集記	高橋 勝雄	14
■★きのここと私★	高野 和子	15
■はじめて見たきのこ 2016	波部 健	21
■菌の輪を描く -GraPhIAnによる種名リストの系統的可視化-	中島 淳志	24
■キノコ模型の気流可視化	小倉 豊史	30
■開催報告 黒い森(シュヴァルツ・ヴァルト)のきのこたち	北川 公子	33
■キノコとあやしい培地、そして培養菌糸のこと	林 智絵	34
■謎の月夜蕈(つきよたけ)	根田 仁	38
■妖菌時計	帆足 美伸	43
■梅雨のある日、変形菌に出会った	前川 啓二	48
■カバーガラスの下の生き物達	大久保 泰和	51
■100枚のきのこ切手	氏家 文憲	54
■八十八歳のきのこ人生 -きのこは一人では生きていけない-	古川 久彦	59
■八十八歳のきのこ人生 -きのこの身になって勝手に考えたこと-	古川 久彦	62
■八十八歳のきのこ人生 -八十八年間の体験で得た数々の教訓-	古川 久彦	68
■八十八歳のきのこ人生 -八十八歳の手習いとは-	古川 久彦	79
■きのこ・かび 関連図書の紹介	吹春 俊光	81
■2016年度行事報告	吉田悦子・吹春公子	86
■投稿のご案内		91
■表紙シリーズ 房総の森ときのこ その1「マツ林のきのこ」	吹春 俊光	93
■表紙によせて	大作 晃一	97